



学級活動で折り合いをつける

10月5日(木)に、4年1組で「4の1オリンピックをしよう」という題材で、学級活動の研究授業を行いました。高学年に近づいていることを意識しながら、自分たちの力でオリジナルのオリンピックをすることでより成長したい、仲がもっと深まるようなことをして思い出をつくりたい、というのが提案理由でした。

実際にしてみたい活動は右の7種目。このうちから

3つを選びます。選

ぶ根拠となるのは

「提案理由」です。

オリジナリティがあってみんなの仲が深まるような種目を、話し合いの中で



決めていくことが大事になります。このような話し合いの場合、どうしても、「自分がしたい」という思いがあふれてしまいがちですが、4年生は、何とか折り合いを付けながら種目を決めていました。種目が決まれば、その種目の詳細なルールや役割分担などを決めていきました。

今回の話し合いの準備や司会、書記などを任された今回の計画委員の力も見逃すことはできません。今後も学級活動をするときには、折り合いを付けながら、みんなが納得感をもてるようにしていきたいと思えます。

【種目の候補】

- ドッジボール
- しっぽ取り鬼ごっこ
- フリスビー投げ
- スプーンリレー
- 爆弾ゲーム
- カード裏返しゲーム
- 縄跳びリレー

潮見っ子フレンド通信

10月6日(金)から20日(金)までの2週間、友達に感謝の気持ちを伝える取組として「潮見っ子フレンド通信」という活動を行っています。学級、学級以外の友達にあてた感謝の言葉をメッセージカードに書いています。学級のカードは、各学級で掲示をします。学級外の友達へのカードは、ポストに投函して委員会の子どもたちが掲示をしたり届けたりします。

もらってうれしい言葉の一つとして「ありがとう」があります。感謝の気持ちを伝えられると、自分が役に立ったことを実感できます。日本の子どもたちは自己肯定感が諸外国に比べて低いという結果が出ていますので、こういった活動を通して、少しでも自分に自信をもってほしいと願っています。

